

# FOLFOX+アバスチン療法

## 治療のスケジュール

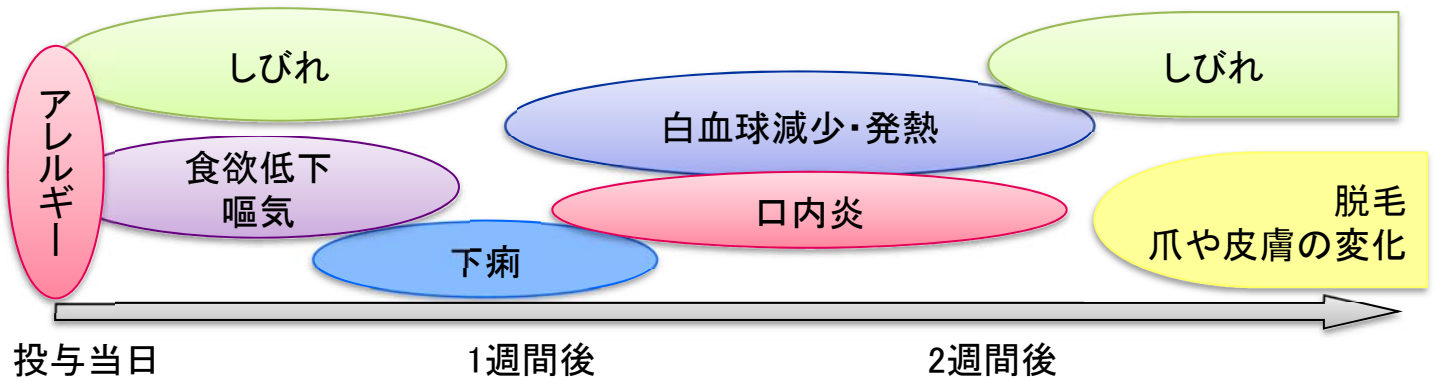
	外観	お薬名	薬の効果	スケジュール 点滴時間		
				1日目	2~14日目	
1		吐き気止め アレルギー止め	吐き気予防 アレルギー予防	10分	お休み※	
2		アバスチン 成分名：ベバシズマブ	がん細胞の増殖 を抑えます	初回90分 2回目 60分 3回目~30分		
3		レボホリナート 成分名：レボホリナート	がん細胞の増殖 を抑えます	5-FUの効果を 高めます		2時間
		オキサリプラチン 成分名：オキサリプラチン		2時間		
4		フルオロウラシル 成分名：フルオロウラシル		10分		
5		フルオロウラシル 成分名：フルオロウラシル ヘパリンNa 成分名：ヘパリンナトリウム	がん細胞の増殖 を抑えます	46時間		

## ！ 投与中の注意！

以下の症状が見られたら我慢せずに医療スタッフに声をかけてください

- 点滴部位の強い痛みや腫れ、かゆみ（血管痛・点滴の血管外への漏れ）
- 動悸、息切れ、発疹、冷汗（アレルギー症状）

# 起こりやすい副作用の発現時期と対処



## しびれ

- 点滴後から1週間程度、手足や口のまわりがしびれたり、のどがしめつけられるような症状が起こります。
- 冷たいものに触れると症状が出やすくなるため、注意してください。
- 治療を続けていくと、しびれが強くなり症状が持続することがあります。文字が書きにくい、歩きにくい等の症状がある場合はお知らせください。

## 食欲不振・吐き気・おう吐

- 投与日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを少しずつ食べるようにしましょう。
- 吐き気止めが処方されている場合は、指示通り内服してください。

## 下痢

- 点滴を始めて4日目ごろから下痢や水っぽい便が出る場合があります。
- 症状があらわれた場合、脱水予防のためスポーツドリンクなど塩分を含んだ飲料水で水分補給を行ってください。
- 発熱や腹痛・嘔吐を伴うときは、必ず病院に連絡してください。

## 口内炎

- 点滴1週間後ごろから口の中が傷んだり、腫れることがあります。
- 口の中を清潔に保ち、うがいをこまめに行なって乾燥を防ぎましょう。
- 食後は柔らかい歯ブラシで優しく歯磨きをしてください。

## 白血球の減少・貧血・血小板の減少

- 点滴後1～2週間ごろに最も白血球が減少し感染症にかかりやすくなります。
- 予防のため外出の際は人ごみを避け、こまめにうがい手洗いをしましょう。
- 息切れ・動悸などの貧血症状が現れた場合は、体を休めるようにしましょう。
- 血小板が減少すると体にあざ・赤い斑点ができやすくなったり、鼻・口の中が出血しやすくなります。転倒やケガに注意し、鼻かみや歯磨きはやさしく行うようにしましょう。

## 皮膚や爪の変化

- 点滴を繰り返すことで皮膚の黒ずみ、手足が赤く腫れて痛くなる・水疱ができる、爪がもろくなるという症状が現れることがあります。
- 手足の皮膚や爪は清潔に保ち、クリームで保湿しましょう。日差しが強いときには日焼け止めを使いましょう。

## 高血圧

- 血圧が高くなることがあります。日頃から血圧を測定しましょう。
- 症状に応じた降圧薬をお飲みいただくことがあります。
- ひどい頭痛、吐き気、視力低下、胸や背中の中の強い痛みがあるときは、必ず病院に連絡してください

## 出血傾向

- 鼻や歯肉などの粘膜から軽度の出血が起こることがあります。出血は通常軽く、自然にまたは圧迫することで止まります。
- 10～15分たっても血が止まらない場合は、病院までご連絡ください。
- 抜歯などの、出血を伴う歯科治療を行う場合は、事前にお知らせください。

## 蛋白尿など

- 蛋白尿がでたり、傷が治りにくくなるなどの症状が現れることがあります。



## このような症状が現れたら、必ずご連絡ください

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 血圧が180を超えて、頭痛やめまい、視野がぼやける時
- 今までに経験がないほど強い腹痛を感じたとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきたとき



## 病院へ電話する前に確認しましょう

- ①診察券番号
- ②おかけの診療科
- ③主治医の名前
- ④抗がん剤治療中であること
- ⑤気になる症状（具体的に）

## 連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8:30～17:00》

おかけの診療科外来を

伝えてください

《平日の夜間および休日》

救急外来と伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

□	□	□	—	□	□	□	—	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

お名前

